

# 基礎学力の定着に向けて ～『学習意欲の向上』～

## 学習指導要領改訂の基本的な考え方

今回の学習指導要領の改訂は、教育基本法の改正等や現在の子どもたちの課題を踏まえ、学習指導要領の理念を実現するための具体的な手立てを確立するという観点に立っています。その基本的な考え方の中に、「学習意欲」に関わる記述が多く見られます。改正教育基本法や学校教育法の一部改正では、「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和を重視するとともに、学力の重要な要素は、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③**学習意欲**、であることを示しています。

このため、今回の学習指導要領の改訂では、現在の子どもたちの課題への対応の視点から、①「生きる力」という理念の共有、②基礎的・基本的な知識・技能の習得、③思考力・判断力・表現力等の育成、④確かな学力の確立のために必要な授業時数の確保、⑤**学習意欲**や学習習慣の確立、⑥豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実 がポイントであり、その中でも、**特に、②を基盤とした③、⑤及び⑥が重要と**されています。

【学習指導要領「総則」から】

○「主体的に学習に取り組む態度を養い～」 ○「児童(生徒)の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫する」 ○「児童(生徒)の興味・関心等に応じた課題学習～」 ○「学習意欲の向上に生かすように～」 等々



「学習意欲」にはいろいろな定義がありますが、一般的には学習活動に関するモチベーション(動機づけ)、具体的には子どもたちの「学びたい」「学ばなければいけない」といった気持ちを指します。学習意欲を高めるためには、大きく分けて「**内発的(自分の中からの)動機づけ**」と「**外発的(外から与えられる)動機づけ**」の二つの方法があります。

## 子どもの学習意欲を高めるために！

### ア) 興味や好奇心に訴えかける

・楽しそう ・おもしろそう ・なぜだろう ・ふしぎだな ・知りたい 等々

### イ) 成功への期待や達成感、やりがい、自信を高める

・できそう(できた) ・わかりそう(わかった) ・やればできる 等々

※ 教師の期待や称揚・激励・賞賛、本人の成功体験、達成感が大切です。

### ウ) 大切さや必要性を訴える

・大切だから ・大事だから ・必要だから ・しなければならないから 等々

### エ) 賞罰を適切に与える

・ほめる ・認める ・丸を入れる ・シールを貼る ・叱る ・注意する

※ 一般的には、賞の方が罰よりも効果が大きいと言われています。

### オ) 協力や適度な競争を取り入れる

・ペア学習 ・グループ(班)学習 ・グループとグループ 等々

※ 複数で活動すると、一人一人の子どもの学習に質的・量的な差が生じやすくなることに留意する必要があります。

※ 過度な競争は、優越感や劣等感を抱かせることとなります。競争を取り入れる場合は、自分の前の記録と競わせたり、客観的な基準(学習目標)を目指して努力させたりするように支援することが大切です。



★ 子どもの学習意欲を高めるために、保護者や地域の人々とも連携し、一体となって取り組むと一層効果的です。

